

あい! ~ with smile ~

龍ヶ崎市立城西中学校
第3学年 学年通信
NO.14 R1 10/29
文責 土井 耕介

感動をありがとう。令和元年度合唱祭

3年生、最後の合唱。どのクラスもかける思いは強く、連日放課後遅くまで練習を重ねました。生徒たちの感想にもあるように、本気だからこそぶつかり合ったり、なかなかうまく歌えないもどかしさに悩んだりもしましたが、その中で仲間の優しさや、心強さに触れることもあり、様々な紆余曲折を経て、あのステージが生まれました。

想いを込めてひたむきに歌う姿や声、表情はどのクラスもすばらしく、聞いている人の胸を打ちました。音は、その場で消えていってしまうものですが、全員がクラスの仲間とともに頑張った日々と、あのステージで心をひとつにして歌った数分間で感じたことを、大切にしてほしいと思います。また、それぞれの立場で経験したことを、これからの自分や、周りとの関わりの中で生かしていくことも大切です。

歌声が響き渡る毎日がなくなるのは寂しいですが、また一つ財産となる経験ができました。どのクラスも感動をありがとう！

最優秀賞「群青」3年2組 おめでとう！！

※11/7に龍ヶ崎市文化会館で行われる、市小中学校音楽祭にて学校を代表し、発表を行います。



中学校最後の合唱祭がありました。僕たちのクラスは日本で一番練習をしたと思います。でも結果は最優秀賞は取れませんでした。けれど、今までがんばってやってきた練習を思いかえすと、盛り上がった時もあつたし、ケンカしていた時もあつて、いろいろなこともあつたけれど、楽しくがんばれて良かったです。

あと、前日に先生があの一言や二言を言ってくれたおかげで、みんな切り替えてがんばれたと思います。本番では悔いがなく歌えたので良かったです。篠崎先生のことを泣かせられて良かったです。思い出の合唱祭でした。

3-1 秋山飛和

僕は今回初めてパートリーダーという立場に立ちました。最後の合唱祭は悔いのないようにしたかったからです。ですが、いざ練習が始まると、予想以上に大変な仕事でした。あたりまえのように皆をまとめたり、教えたりすることを求められたのです。

僕は皆の前に立つと、注目されることはあまり得意ではありませんが、リーダーになった以上、しっかりと皆をまとめ最優秀賞に導かないといけない、そう思ってリーダーの仕事を全うしました。

僕たち3-2は「群青」を歌いました。この曲は東日本大震災の被災地の方々が作詞した曲で、すごく感情を込めて歌いました。今年は合唱祭練習の時間が短く、大変でした。その期間、僕たちはものすごく頑張りました。その結果、最優秀賞をとれました。結果が発表された時、嬉しすぎて思いっきり叫びました。前にいた中妻さんは飛び跳ねていました。すごく安心しました。

この後は文化会館で発表があります。その時も皆で楽しんで歌いたいと思います。

3-2 佐藤輝弥

私はソプラノパートリーダーになりました。私たちのクラスは特に他のクラスに差をつけられて、皆やる気を失ってしまい、前日に対立していました。解決するために先生に時間をとってもらい、話し合いの中で泣いたり笑ったり……。しっかりと解決することができました。

当日は皆緊張していて、上手く声が出なかつたり速くなつたりしまつたりしたけれど、最後は歌っていなかつた男子も歌ってくれて、全員で一つの歌を作ることができて良かったです。「俺をボウズにさせて見ろ！」この言葉で皆がやる気になってくれました。結果は最優秀賞を取ることはできなかつたけど、ちゃんと歌えたとし、後悔はないです。

中学校生活最後の行事でたくさんのことを学びました。これを生かして、これからも頑張っていきたいです。卒業までの残り時間、楽しみたいです。

3-3 瀧澤莓花

僕たちにとって最後の合唱祭がありました。僕たちのクラスは「プレゼント」という曲を選びました。「プレゼント」は歌詞の言葉の一つ一つが分かりやすく、僕たちと共感できるような曲でした。とても難しい曲だったけれど精一杯練習しました。

本番では、僕たちの力を出し切った合唱ができました。最優秀賞をとれなかつたのは残念でしたが、悔いの残らない合唱ができたので、良かったと思います。

4組のみんなと一緒にいられる時間はあまりないので、明るく楽しく仲良く生活していきたいと思いました。

3-4 中嶋一稀